

共同の住まい コレクティブハウス居住の選択を支える環境デザイン

第二課題では、多世代の住人が暮らすことを想定したコレクティブハウスを設計します。加えて、生活のスタイルも多種多様であることを前提とします。一人暮らし、子供のいる家族、様々な職種等々、様々な人々が、生活の一部分をお互いに意識しながら暮らすための住まいです。みなさんは、このテーマを既に意識して第一課題に取り組んでいるはずです。そこで行った調査や、考察したことを十二分に生かして下さい。

また、コレクティブハウスが完成すると、第一課題の「ショールーム」は、大学のサテライトラボとなります。サテライトラボとの関係も配慮してデザインすることを求めます。コレクティブハウスが、この施設も含めた一体の環境であることを念頭において設計を進めてください。

設計条件

1. 計画するコレクティブハウスの規模
住戸総数 30戸（うち、1ルームを15戸とする）
住戸規模 25㎡程度～70㎡程度
1ルーム 15戸
1ルーム以外 15戸（1K、nLDK等）
人数分の貸倉庫を保有する 一戸当たり 10㎡程度
2. 最低限備えるべきCOMMONスペース
リビングルーム
ダイニングルーム
キッチン
ランドリールーム
共用洗面室
倉庫
ゲストルーム
居住者組合事務室

参考：①「かんかん森」では延べ床面積 1944㎡に対して 172.82㎡

②北欧のコレクティブハウスでは、木工室、図書室などを備えたものもある。

③また屋外に共用部分を持つ場合、庭園や菜園が加えても良い。

3. 大学サテライトラボ

サテライトラボは一体の環境として捉えてよい。独立した施設としても、施設共用を行っても良い。

4. 敷地等の条件

敷地：配布資料の通り

建蔽率、容積率：決定されている条件に従う

※各自が立案した計画が条件に適合しているかどうか、エビデンスを添えること。

提出物

1. 必要図面

以下の図面を、A1 ケント紙に、見る者の関心を誘い、分かりやすくかつ、美しくレイアウトして提出しなさい。